



歳末慰問金を交付 共同募金会と社会福祉協議会からの歳末慰問金を十二月二十七日、二十八日の両日差上げます。該当者の方には既に御通知してありますが、期日には必ずお受取りください。(福祉事務所)



### 年末のごあいさつ

#### 昭和三十一年を顧みて

大村市長 大村 純毅

昭和三十一年もいよいよ過ぎ去ろうとしています。今年もわたしたち市民にとっては多事多難な年で、決して楽な年ではありませんでした。それにも拘らず、市民の皆さんはよく頑張って市政に御協力いただいたお蔭で、市としても明るい希望をもってこの年を送ることができたことを厚く御礼申し上げます。特に今回の選挙には市民の皆さんの御理解ある御支援で、再び市長に就任させていただきましたことを心から感謝している次第であります。

過去四年間の体験を生かして、着々と大村市建設の基礎造りに誠心誠意邁進したいと固く決意しております。毎年のことではありますが一歩、歩み、楽しかったこと、苦しかったことなどふり返つてみて、新しい年を迎える心構えをしてこの年を送りたいと思ひます。

### 台風にもめげず

先ず市政の全般的な面から考えて見ますと本年の年頭に私が市民の皆さんに申し上げたように、理想的な甲府都市建設を市としての将来の構想として、総合的に産業を開発すべくその基礎調査を実施して来たのであります。しかしながらこれに到達するためには、先ず市政の健全化が先決であつて本年度においては極力歳入の増加に努め、歳出を抑え、特に元費を削減した予算を編成し、所期の目的を達成に努力して来たのであります。過去において投資的事業の計画によつて生じた約八千九百万円の赤字克服については、既に皆さんにお知らせしたように、年次計画でこれを解消すべく地方財政再建特別措置法の適用をうけて解決する次第であります。

入成績は一般に比し良好な状態であり、本年は納税率も十一月末現在、現年度分は六八%で昨年比で三%の上昇を示している。これは市民の皆さん御協力の結果、好評を得ておられます。また、市営公園の整備も、多良岳公園の昇格を申請中であり、立公園審議委員長下村海南氏らが来大、現地視察の結果、好評を得ておられます。また、市営公園の整備も、多良岳公園の昇格を申請中であり、立公園審議委員長下村海南氏らが来大、現地視察の結果、好評を得ておられます。

産業経済面においては総合的産業開発を図るため、多良岳山麓一帯の水源、立地、地理的条件などの基礎調査に着手したのであります。特に大村白土の開発事業が本格的に開始されたことは特筆すべきであります。農林関係では三十年産米の集荷一〇二%という好成績で、果下第三位となり、知事賞を授賞し、水稲、甘藷競争会でも優秀な成績を収めたのであります。また、市有林の植林状況は杉、榎、クヌギなど三十一町二畝十一万一千七百本で、榎苗として杉、ツツジなど十一万五千八百本を生産し、また約六千本の林道の開発補修も行つておられます。そのほか、林業技術研究会、木炭講習会を定期的に開催し、市道の普及向上に努めておられます。

中小企業育成強化のため中小企業相談所、澁谷工場共同視察所が設置されたのであります。また、失業救済、家内工業として模造真珠の製造、郷土特産品としてカツパ人形の製作も行われたいのであります。水産業は養殖カキ、真珠、ナマコの生産、交通船に対する育成も行つたのであります。新しい村づくりのため新農山漁村建設計画に基づいて大村市でも、果樹の指定をうけるよう準備に着手しております。また、今後これを具体的に計画、推進して行くために、農山漁村振興協議会を設け、自主的な活動を促進したいと考えております。

社会福祉事業では八月に母子福祉連合会、十月には社会福祉協議会の結成をみるなど自主的活動が推進されつつあり、二月、十月には生活に困つた人たちのために世帯更生資金の貸付、七月には母子福祉資金の貸付を行つたのであります。十月末民生委員の改選に当り十一月一日より、婦人委員十一名も加え五十九名の新生民生委員が決定したのであります。

教育関係においては、まず、有為な人材を養成するため、新たに奨学金制度を設けたのであります。四月には福重に幼稚園、七月には松原に保育園が開設されたのであります。五月には第九回県民体育祭が市内をスポーツ一色で塗りつぶし地元開催地として有終の美を収めることができました。十月一日から教育委員の会法の改正に伴い、新任した五名の教育委員を任命したのであります。十一月の文化の日には教育功労者の表彰が行われ、中央公民館には待望のピアノが設備されました。

このほか学校給食の充実、青年団、婦人会、公民館活動なども目覚ましいものがあり、新生活運動も協力に推進されております。一月二日神宮マーカーの火災を始めた件が、何れも目覚ましい消防活動、民間施設の協力により早期のうちに軽微な被害にとどまることのできたことは、不幸中の幸いであつたと言えます。

その他、市制施行十四周年記念には本年勤続市職員らの表彰を行い、研修の面では十月から二カ月間職員一名を自治大に派遣し、十月には職員レクリエーション大会を行つたのであります。また、末端行政機構の充実については、本年三月、八月の二回に亘り全市町総代会を開催し、金町総代会を町務連絡委員に委嘱、町内とのつながりを密にして、市政運営を潤滑にしたのであります。また、市民の協力が根本であり、このためには十分に市の態勢を周知徹底し、市民の意志を反映させることが先決であります。七月下旬から九月初旬まで、各地区毎に市政懇談会を開催したのであります。また七月には婦人会幹部の一日市長、広報に対する身論調査を実施しました。

モーターボート事業も開設五周年を迎え、八月には初の大村湖一周レースを挙行、その技術は格段の進歩を遂げ、運営面においては経営の合理化を図り、最小の経費で最大の効果を上げるべく努力し、本年度上半期に努力し、八百万円の収益を上げて、市政の確立に大いに貢献しているものであります。

以上のような事柄が本年に行われており、来年はさらなる創意工夫をこらし、市の発展、大村市建設の基礎造りに新たな希望をもつて市民の皆さんと、ともに手をたずみ、勇躍邁進したいと存じます。どうぞ皆さん、お元気でよいお年をお迎えくださるよう、お願いいたします。年末のごあいさつといたします。(市民課)

1月23456 モーターボート